

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」中沢中学校区実践計画書

事務局 八戸市立中沢中学校 教頭 堀 直樹

1 主題(3年計画の1年次)

「児童生徒の学習意欲を高めるための一人勉強・自主学習のあり方について」
～自ら進んで学ぶ家庭学習の習慣化をめざして～

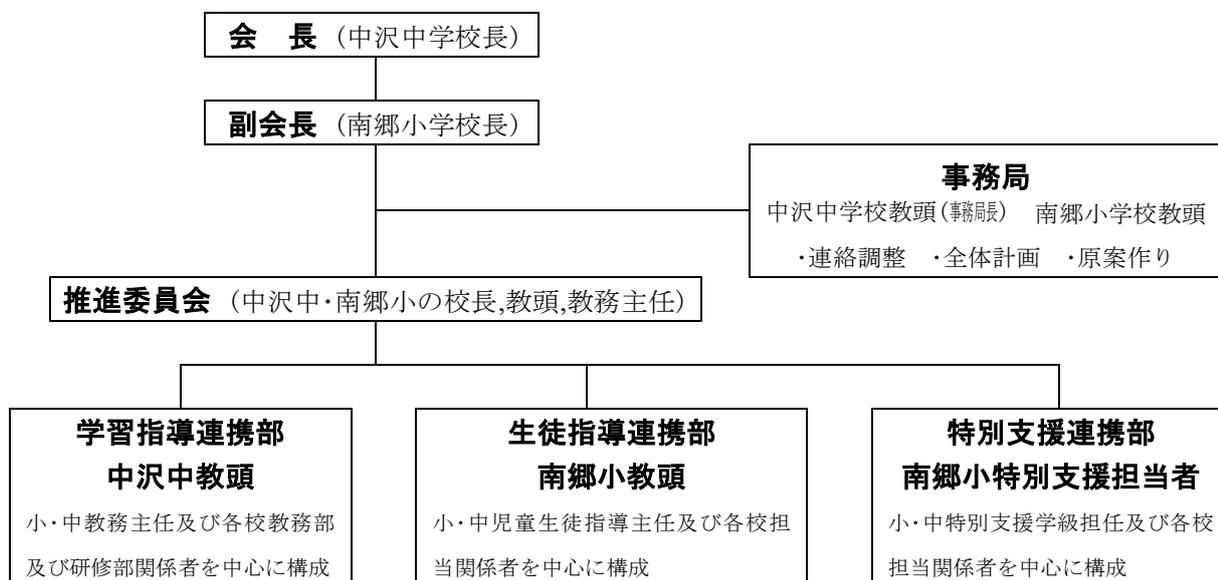
2 主題設定の理由

学校評価アンケート等の結果を見ると、保護者は「家庭学習への取り組みが不十分」「家庭での時間の使い方が適切ではない」ことに不満・不安を抱いていることが分かる。コロナ禍で過去2年間、児童生徒は家庭で過ごす時間が増えたが、メディア機器の使用時間が増える等、家庭での時間が有効、有益なものになっていない。また、昨年度は通常の学校生活が徐々に行われるようになり、家庭で過ごす時間は減りつつあるが、その少ない時間の活用が適切ではない現状がうかがえる。よって、家庭での時間の活用に関して、児童生徒に問題意識をもたせ、その改善に努めるよう促したい。

具体的な取組として、

- ・家庭学習の習慣化に向け、一人勉強(小)・自主学習ノート(中)を活用する。
- ・児童生徒の発達段階や能力に合うよう、内容や取り組ませ方を工夫する。
- ・自らテーマを決めて取り組むなど、主体性を持たせる。
- ・取り組みについて振り返りの機会を設け、その後の改善につなげる。
- ・取り組みを保護者に周知し、連携・協力を図る。
- ・家庭でのメディア機器の使用時間、使用状況を確認し、家庭での時間の活用のあり方 を考えさせる。を行わせる。この取組について、小・中学校それぞれで内容を考案し、実践に努める。それによって、児童生徒の家庭での時間の活用のあり方を改善し、家庭学習の習慣化を目指したい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

中沢中学校区 重点指導項目

- 授業と家庭学習を関連付けると共に、家庭学習習慣の確立と充実を図る。(授業づくり)
- 「役立っていることを実感させる場面」「周りの人からの肯定的な評価を受ける場面」を設定する。(居場所づくり)
- 「多様な関りを経験させる場面」「周りの人に支えられていることを実感させる場面」を設定する。(絆づくり)

